



# 南関中スピリッツ

「自分の限界に挑戦！チャレンジ南関中」

南関中学校学校便り

自主 創造 友愛

NO. 4 (文責 永杉尚久)

## 南関中学校運営協議会(南関中CS)

5月25日に5人の委員の方々(野田泰臣様 堀千鶴子様 大石和幸様 佐藤安樹様 加藤美智子様)をお招きして開きました。最初に5時間目の授業を参観いただき、タブレットを活用した授業やリモートでの授業の様子を紹介しました。その後、学校や生徒たちの様子をお知らせし、令和3年度の学校運営について承認をいただきました。

会の中で委員の皆様からは次のようなご意見をいただきました。

- 生徒の語彙力をつけてコミュニケーション能力を高めて欲しい。
- 生徒たちの人間関係をきちんと把握して、いじめや不登校の防止と解消に努めて欲しい。
- 新型コロナウイルスの影響で心のケアが必要な生徒にはしっかりと寄り添って欲しい。
- ヤングケアラーの状況把握と福祉部局との連携を図って欲しい。
- これからの時代を生き抜いていくためには、考える力や表現する力が必要。生徒たちにしっかりと身に付けさせる取組をお願いします。

地域の方々の御指導・助言を受け止めて、町の宝である生徒たちの育成に努めます。



(委嘱状交付)



(協議の風景)

### 体育大会を9月に延期しました。

新型コロナウイルスの影響を受けて延期をしましたが、これまで取り組んできた準備は決して無駄ではなかったと思っています。

3年生がリーダーシップを発揮して、練習に取り組んでくれました。予行の時には、ソーラン節を心一つにして踊ろうという姿勢が見えました。また、生徒たちの日記からは、「やり切る」「あきらめない」という気持ちや体育大会を成功させるために、自分ができることを考えて行動する意識の高まりが読み取れました。これまで身に付けた力を更に磨いて、9月には最高の体育大会を期待しています。

## 今日の論語

子曰わく、「力不足<sup>ちからあせり</sup>ざる者は、中道<sup>ちゆうだう</sup>にして廢<sup>はい</sup>す。今<sup>いま</sup>なんじは画<sup>か</sup>れり」と。

先生(孔子)は言われた、「力の足りない者が、途中であきらめるのは仕方がない。しかし、今あなたは始めてもいないのに限界を決め、あきらめようとしている。」と。  
チャレンジには成功や失敗はつきものです。成功は大きな自信につながり、失敗はその時の痛みはありますが自分を成長させる大きな糧にもなります。人は未知のものに出会うと不安を覚え「経験が無いので、自分にはできない。」と尻込みをしまし、まう時があります。できるかできないかはやってみないと分からないのに、自分で壁を作って挑戦をあきらめている。失敗を恐れずチャレンジして、自らの成長につなげましょう。

## 校長のひとりごと

今年、早めに雨の季節が始まりました。災害をもたらす大雨は避けたいですが、「雨もいいな。」と思う時があります。一つは、長い日照りが続いた後の雨。緑が一気に息を吹き返し、命の根源である水のありがたさを感じます。二つ目は、夜の雨。パラパラ、ポタポタという雨音を聞きながら眠りに入ると、ぐっすり寝れます。翌朝晴れていたら最高の気分です。四季のある日本。その中で生きる私たちは、昔から季節に触れることで感受性を高めてきました。雨音を聞きながら一句ひねる。そんな余裕のある生活はいつのことやら。  
※裏面に、雨に関する北原白秋の詩を掲載しています。



雨ふり

北原 白秋

雨、雨、ふれふれ、母さんが  
じやの目でおむかい うれしいな。  
ピッチピッチ チヤップチヤップ  
ランランラン

かけましょ かぼんを母さんの  
あとからゆーゆー かねがなる  
ピッチピッチ チヤップチヤップ  
ランランラン

あらあら、あの子はずぶぬれだ、  
やなぎの根かたで泣いている。  
ピッチピッチ チヤップチヤップ  
ランランラン

母さん、僕のを貸しましょうか、  
君 君 このかささしたまえ。  
ピッチピッチ チヤップチヤップ  
ランランラン

僕ならいいんだ、母さんの  
大きなじやの目にはいつてく。  
ピッチピッチ チヤップチヤップ  
ランランラン